

教科(科目)	国語(現代文B)	単位数・3単位	学年(コース)	3学年(普通科)
使用教科書	三省堂『明解 現代文B【改訂版】』			
副教材	浜島書店「LT現代文2」・浜島書店「パスワード級別漢字」			

1. 学習目標

評論や小説など様々な文章の特徴を捉え、主体的に解釈する基礎を養うとともに、自己の意見を明確に表現できる力を育てる。

2. 指導の重点

- ・基本的な言語の習得と、漢字の確実な習得を目指す。
- ・文章を意識して読み解き、その読みが一般性を持つような根拠を考える力をつけさせる。
- ・さまざまな文章への理解を通して、自己の考えを確立させることを目指す。
- ・自己の意見を的確な言葉遣いで表現し、相手に伝えられる力をつけさせる。

3. 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	
4・5月 (一学期中)	随想一	さくらももこ『春の小川の思い出』	読むこと 意欲・関心	・筆者の心情や思考の流れを読み取り、随筆の特徴を知る。 ・主題文を的確に捉え、筆者の論理の展開を明確に読み取る。 ・個性的な表現を味わい、随想の魅力を知る。	7	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	小説一	井伏鱒二『山椒魚』	読むこと 知識・理解 書くこと	・作品のあらすじを把握し、登場人物の心情を読み取る。 ・風景描写など細部にも目を配り、小説の面白さを味わう。 ・主題を的確に捉えた感想を書けるようにする。	7	
6・7月 (一学期末)	評論一	岩井克人『ホンモノのおカネの作り方』	読むこと 意欲・関心	・論理展開の大枠をたどりながら、細部にも目を向ける読解を心掛ける。 ・新しい発想と論理的な展開に興味を持たせ、筆者の斬新な視点を学ぶ。	7	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	小説一	恩田陸『ピクニックの準備』	読むこと 知識・理解 書くこと	・作品のあらすじを把握し、登場人物の心情を読み取る。 ・風景描写など細部にも目を配り、小説の面白さを味わう。 ・主題を的確に捉えた感想を書けるようにする。	8	
	詩	吉原幸子『ユメカサゴ』 宮沢賢治『永訣の朝』	読むこと 書くこと	・詩の表現方法について学び、作者の意図を読み取る。 ・主題を的確に捉えた感想を書けるようにする。	5	
		「LT現代文2」10・11・12 (夏休み)13・14・15・16・17				
9・10月 (二学期中)	評論一	森博嗣『科学的というのはどういう方法か』	読むこと 知識・理解	・論理展開の大枠をたどりながら、細部にも目を向ける読解を心掛ける。 ・新しい発想と論理的な展開に興味を持たせ、筆者の斬新な視点を学ぶ。	7	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	小説二	中島敦『山月記』	読むこと 知識・理解	・登場人物の心情や行動をおさえる。 ・作品の時代背景を理解し、作品のテーマを理解する。	9	
	俳句	ノートの先に海 俳句十二句	読むこと 書くこと	・俳句の表現方法について学び、作者の意図を読み取る。 ・主題を的確に捉えた感想を書けるようにする。	6	
		「LT現代文2」18・19・20・21				
11・12月 (二期末)	随筆二	見田宗介『コモリン岬』	読むこと 知識・理解	・筆者の心情や思考の流れを読み取り、随筆の特徴を知る。 ・主題文を的確に捉え、筆者の論理の展開を明確に読み取る。	5	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	小説二	梅崎春生『魚の餌』	読むこと 意欲・関心 書くこと	・登場人物の心情や行動をおさえる。 ・作品の時代背景を理解する。 ・登場人物の心情を的確に捉えた感想を書けるようにする。	7	
	評論二	養老孟司『かけがえのない未来』	読むこと 知識・理解	・論理展開の大枠をたどりながら、細部にも目を向ける読解を心掛ける。 ・新しい発想と論理的な展開に興味を持たせ、筆者の斬新な視点を学ぶ。	6	
		「LT現代文2」22・23・24 (冬休み)25・26・27・28				
1・2・3月 (三期末)	評論二	鷺田清一『自由のはき違え』	読むこと 知識・理解	・論理展開の大枠をたどりながら、細部にも目を向ける読解を心掛ける。 ・新しい発想と論理的な展開に興味を持たせ、筆者の斬新な視点を学ぶ。	8	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	随筆二	別役実『なまけものコンプレックス』	読むこと 意欲・関心	・論理展開の大枠をたどりながら、細部にも目を向ける読解を心掛ける。 ・新しい発想と論理的な展開に興味を持たせ、筆者の斬新な視点を学ぶ。	7	
	状況と人間	半藤一利『十五歳の東京大空襲』	読むこと 書くこと	・記述内容を正確に読み取り、当時の状況を理解する。 ・感じたこと、考えたこと意見文に書いてみる。	7	

計 96 時間(55分授業)

4. 課題・提出物等

- ・週1回程度漢字テストを行います。(「パスワード級別漢字」)
- ・新聞記事等を活用します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

5. 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと 知識・理解
・積極的に学習に参加している・予習をしている・ノートを工夫して取っている	・人の話を集中して聞くことができる・感想や少々のコメントを適切な表現で話すことができる・内容を理解した上で朗読できる。	・書き言葉できちんと書くことができる・まとまった文章を論理的に書くことができる	・教科書の本文をきちんと朗読できる・さまざまな文章を読解し自分の意見を持つことができる ・基本的な漢字を書くことができる・熟語を適切に文字化できる・社会的な問題や幅広い思考方法を理解することができる

以上の観点をふまえ、定期考査や小テスト、課題テストの結果・授業態度や意欲、関心・提出物や課題の内容・予習状況 などから総合的に評価する。